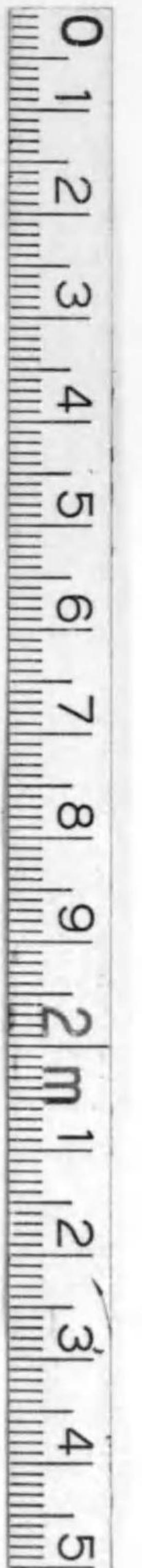


14.21

3521

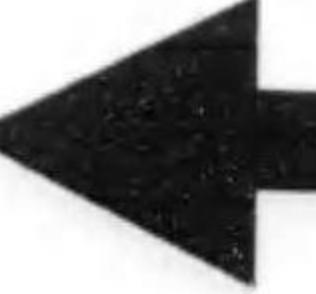


大正五年八月

鹿兒島縣立糖業試驗場要覽

鹿兒島縣立糖業試驗場

始



大正五年八月

# 鹿兒島縣立糖業試驗場要覽

鹿兒島縣立糖業試驗場

(鹿兒島縣大島郡名瀨村)

1421-3521

# 鹿兒島縣立糖業試驗場要覽

## 目 次

第一章 沿革	一
第二章 位置及面積	二
第一節 位 置	二
第二節 面 積	三
第三章 土質及氣候	四
第一節 土 質	四
第二節 氣 候	五
第四章 職員	六
第五章 諸規程	七
第一節 鹿兒島縣立糖業試驗場規程	七
第二節 鹿兒島縣立糖業試驗場處務細則	八



第三節 鹿兒島縣立糖業試驗場甘蔗苗圃設置規程	一七
第四節 鹿兒島縣立糖業試驗場甘蔗種苗配布規程	一八
第五節 鹿兒島縣立糖業試驗場糖業傳習生養成規程	二〇

## 第六章 甘蔗栽培試驗

第一節 自明治四十一年度試驗項目	二五
第二節 大正五年試驗項目	二六

## 第七章 製糖試驗

第一節 自明治四十一年度試驗項目	二八
第二節 大正五年試驗項目	二九

## 第八章 甘蔗苗圃

第一節 苗圃位置	二九
第二節 苗圃面積	三〇
第三節 蔗苗配布成績	三〇

## 第九章 糖業傳習生養成

第十章 印刷物配布	三四
-----------	----

# 鹿兒島縣立糖業試驗場要覽

## 第一章 沿革

本場ハ明治四十五年四月ノ設置ニ係ルト雖トモ之レカ濫觴ハ去ル明治三十五年三月農商務省ノ補助命令ニ基キ同年七月鹿兒島縣告示第百十六號ニヨリ設立セル大島糖業模範場ニシテ當時ノ大島々司福山宏之レカ管理ノ任ニ當リシモ同三十六年七月島司ノ交迭ニヨリ大島農學校長前野長成兼務ヲ命セラレ之レニ代レリ然ルニ明治四十年三月國庫補助滿期ニヨリ繼續補助廢止ノ結果同年三月鹿兒島縣告示第九十八號ヲ以テ廢廳明治四十年四月農商務省告示第九十號ヲ以テ糖業改良事務局大島出張所ヲ新設セラル、ヤ鹿兒島縣知事ヨリ從來經營セシ舊大島糖業模範場建物及備品ヲ讓渡シ同年六月十一日ヨリ開廳在沖繩本局ノ事務ヲ分掌シ糖業改良事務局技師伊森賢三所長ヲ命セラレ明治十四年四月所長伊森賢三鹿兒島縣農事試驗場技師ニ轉任セルヲ以テ大久保駿熊後任トナル明治四十五年三月二十九日勅令第六十九號官制改革ニヨリ本省ニ隸屬セシ糖業改良事務局及大島東京ノ二出張所モ亦自然廢廳ニ歸セルヲ以

テ四月一日鹿兒島縣告示第百六十九號ヲ以テ新タニ大島糖業試驗場ヲ大島郡名瀬村大字金久ニ設置シ元糖業改良事務局大島出張所ニ屬スル建物并ニ器具器械ノ全部ヲ無償交付セラレ補助命令ニ依リ明治四十五年度ヨリ開廳シ本縣技師大久保駿熊場長ヲ命セラレ四月二十三日死去同月二十九日大島々司富田嘉則場長事務取扱ヲ命セラル全年七月十二日鹿兒島縣告示第三百六十一號ヲ以テ鹿兒島縣立糖業試驗場ト改稱全七月二十九日鹿兒島縣糖業試驗場技師兒玉潤一場長ヲ命セラレ大正五年七月二十六日場長兒玉潤一沖繩縣糖業試驗場技師ニ轉任セルヲ以テ全年八月一日鹿兒島縣糖業試驗場技師鳥原重夫場長ヲ命セラレ施設經營以テ今日ニ至レリ

## 第二章 位置及面積

### 第一節 位 置

名 称	位 置
鹿兒島縣立糖業試驗場	鹿兒島縣大島郡名瀬村大字金久

附記 名瀬港ヲ距ルコト南方約十七八町新川ノ支流眞名津川ニ臨ミ道路平坦

### 元大島糖業模範場ノ跡ナリ

#### 第二節 面 積

總面積ハ四町〇三畝二十六步ニシテ各地目面積左ノ如シ

##### 内 譯

###### 試驗地段別

普通栽培段別(採苗、製糖用材料及番外地)

雜地段別(家屋敷地、道路敷排水溝等)

又家屋總坪數ハ二百八十五坪二合七勺四才ニシテ其主ナルモノ、棟數及坪數ヲ擧グレハ左ノ如シ

名 称	構 造	棟 數	坪 數
廳 舍	木造瓦葺平家	一 棟	二十四坪五合
附 屬 便 所	同 上	一 棟	二 坪
同 倉 庫	同 上	一 棟	七坪五合
同 研 究 室	木造平木葺平家	一 棟	六 坪

壹町九反壹畝步

九段〇八步

一町二段二畝十八步

全十九八七六五四三二一											
一一											
年月月月月月月月月月月											
二〇、九、〇	一、九、一	三、八、二	三、五、三	一、七、五	五、六、三	二、七、四	一、六、三	四、二、二	一、四、六	一、四、六	度
三、五、〇	二、七、一	元、三、一	三、一、七	三、五、〇	四、二、四	三、七、三	三、〇、三	二、八、〇	一、五、四	一、六、四	度
四、六、一	七、九、一	二、五、三	一、五、二	二、〇、八	一、八、八	一、五、八	一、六、二	八、九、五	二、五、二	四、六	度
二、〇、〇	一、八、五	五、五、三	三、四、三	一、三、三	一、三、三	一、〇、一	一、〇、〇	〇、〇、〇	〇、〇、〇	〇、〇	快晴
一、四、六	二、二、五	五、九、一	七、一、七	七、一、六	九、八、六	一〇、五	一〇、五	九、〇	六、四	二〇、四	天氣
二〇七、六	一、八、七	八、一、八	三、六、二	二、五、三	一、九、九	一、九、四	一、八、八	三、七、四	三、九、八	二、九、八	日數
二、三五、六	一、九、八	一、大、三	一、七、六	一、八、九	一、〇、五	一、九、一	一、九、九	一、八、八	二、九、八	三、二、二	雨量
二、九九、四	一、八、四	〇、八、二	三、一、九	二、八、九	三、二、九	三、六、五	三、六、七	二、〇、九	二、四、五	三、三、〇	湿度
七、五、〇	七、〇、六	七、〇、八	七、〇、八	七、〇、七	七、〇、七	七、〇、〇	七、〇、〇	七、〇、〇	七、〇、〇	七、〇、〇	%
八、五、一	二、九、一	七、三、二	三、四、三	三、六、二	二、五、一	一、三、三	三、二、三	五、六、三	三、〇、三	二、二、〇	暴風日數
二、二、四	二、二、九	〇、〇、七	〇、〇、六	一、二、二	一、二、二	〇、〇、〇	〇、〇、〇	一、一、一	一、一、一	二、二	強烈颶風日數
〇、八	一、〇、一	〇、〇、〇	〇、〇、〇	〇、〇、〇	〇、〇、〇	〇、〇、〇	〇、〇、〇	〇、〇、〇	〇、〇、〇	〇、〇、〇	暴風日數

本場使用セル烟地ハ悉皆民有借入地ニシテ土質ハ第四紀新層河成沖積土ニ屬  
セル礫質粘土ナリ

### 第二節 氣候

自明治三十七年  
至大正二年拾ヶ年平均氣象一覽

## 第三章 土質及氣候

### 第一節 土質

第一號官舍	同	附屬浴室	寄宿畜舍	肥料舍	水車壓搾舍	煎煉所	分蜜舍	牛車用壓搾舍	同小使兼宿直室	同分析室
第二號官舍	同	同	木造瓦葺平家	木造茅葺平家	木造茅葺平家	同	木造瓦葺平家	木造茅葺平家	同	木造瓦葺平家
第三號官舍	同	上	木造瓦葺平家	木造茅葺平家	木造茅葺平家	上	木造瓦葺平家	木造茅葺平家	上	木造瓦葺平家
第四號官舍	上	上	一棟	一棟	一棟	一棟	一棟	一棟	一棟	一棟
第五號官舍	四戶建棟	一棟	一棟	一棟	一棟	一棟	一棟	一棟	一棟	一棟
第六號官舍	四坪	二坪	四坪	四坪	四坪	四坪	四坪	四坪	四坪	四坪
第七號官舍	四十七坪五合	二十一坪二合五勺	四十五坪五合	二十一坪二合五勺	二十一坪二合五勺	十五坪	十七坪五合	二十八坪二合七勺四才	二十五坪	十二坪
第八號官舍	四十四坪五合	二十一坪二合五勺	二十一坪二合五勺	二十一坪二合五勺	二十一坪二合五勺	十五坪	十七坪五合	二十八坪二合七勺四才	二十五坪	十二坪

## 第四章 職員

官職名 分擔事務 氏名

鹿兒島縣立糖業試驗場技師

栽培兼製糖掛長

鳥原氏

鹿兒島縣技師

製糖掛(分析)

淺昌重

技術手

栽培兼製糖掛

元昌敬夫

技術手

岩村上切

治春夫

技術手

中岡馬村

明彦都

技術手

上押村

正慶顯

技術手

大村山

一都

技術手

岩村嘉

治敬

技術手

喜界桂

一

技術手

德之島苗圃管理

久保田生

技術手

沖永良部苗圃管理

一

技術手

喜界苗圃管理

三

技術手

大島苗圃管理

一

技術手

栽培兼製糖掛

一

技術手

喜界苗圃管理

一

## 第五章 諸規程

### 第一節 鹿兒島縣立糖業試驗場規程

(鹿兒島縣訓令  
甲第十三號)

第壹條 大島糖業試驗場ニ於テ施行スヘキ事業ノ概目左ノ如シ

一、甘蔗ノ耕種試驗ニ關スル事項

二、砂糖ノ製造ニ關スル事項

三、講習講話ニ關スル事項

四、種苗ノ配布ニ關スル事項

五、調査及質問應答ニ關スル事項

六、報告書ノ發刊ニ關スル事項

第貳條 糖業試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク

一、場長

一、技師

一、技手

一、書記

第參條 場長ハ技師ヲ以テ之レニ充ツ上司ノ指揮監督ヲ承ケ場内一切ノ事務ヲ管理シ場員ヲ監督ス

第四條 技師・技手ハ場長ノ指揮ヲ承ケ庶務會計ノ事務ニ從事ス

第五條 書記ハ場長ノ指揮ヲ承ケ庶務會計ノ事務ニ從事ス

第六條 場長事故アルトキハ上席ノ場員其ノ事務ヲ代理ス

第七條 場長ハ場務ニ關シ職名若クハ場名ヲ以テ文書ヲ發送スルコトヲ得

第八條 左ノ各號ニ掲タル事項ハ場長直ニ之レヲ處分スルコトヲ得

一、場員管内ノ出張

二、場員ノ事務分擔

三、場員ノ歸省・看護・墓參・轉地療養其他私事旅行賜暇願ノ許可及除服出仕ヲ

命スルコト

四、種苗及標本類ノ配布

五、豫算ノ範圍内ニ於ケル物品ノ購入

六、講習生ノ募集及養成

七、雇員・助手・農夫・小使ノ進退

八、前各號ノ外輕易ニ屬スル事項

第九條 場員管外ノ出張ヲ要スルトキハ知事ノ認可ヲ受クベシ

第拾條 場長管外ノ出張ヲ要スルトキハ意見ヲ知事ニ具申シ管内出張ノ場合ハ其ノ用務出張地名及豫定日數ヲ具シ豫メ知事ニ届出ツベシ

第拾壹條 場長ハ毎年度始メニ於テ業務ノ設計順序方法及講習生ノ養成方法ヲ定メ島司ヲ經テ知事ノ承認ヲ受クベシ

第拾貳條 場長ハ業務ノ成績ヲ調査シ毎年製糖ノ終期ニ於テ島司ヲ經テ知事ニ報告スベシ

前項ノ成績ハ知事ノ認可ヲ得テ公示スルコトヲ得

第拾參條 場務ノ細則ハ場長之レヲ定メ知事ノ承認ヲ受クベシ

(四十五年六月廿八日訓令甲第二十二號改正)

第二節 鹿兒島縣立糖業試驗場處務細則

(明治四十五年六月十九日認可)

第一章 事務分掌

- 第一條 場長ハ事務整理ノ爲メ栽培掛・製糖掛・庶務掛ヲ置ク  
栽培掛ハ左ノ事務ヲ掌ル
- 第二條 種苗ノ配付ニ關スル事項
- 三、昆蟲病理ニ關スル事項
- 四、栽培ニ關スル講習講話ニ關スル事項
- 五、栽培ニ關スル成績調査ニ關スル事項
- 六、栽培ニ關スル調查及質問應答ニ關スル事項
- 七、氣象觀測ニ關スル事項
- 八、農夫ノ配置監督ニ關スル事項
- 九、苗圃ニ關スル事項

- 第一條 製糖掛ハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、砂糖ノ製造試驗ニ關スル事項
- 二、砂糖・土壤・肥料其他糖業ニ關スル物件ノ分析鑑定ニ關スル事項
- 三、製糖ニ關スル講習講話ニ關スル事項
- 四、製糖ニ關スル調查及質問應答ニ關スル事項
- 五、製糖ニ關スル成績調查ニ關スル事項
- 六、標本陳列整理保管ニ關スル事項
- 第四條 庶務掛ハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、場長ノ官印及場印ノ保管ニ關スル事項
- 二、文書ノ收受發送及編纂保存ニ關スル事項
- 三、經費ノ收支豫算決算ニ關スル事項
- 四、土地建物其他物品會計ニ關スル事項
- 五、出勤簿ノ管理及場員ノ願届ニ關スル事項
- 六、報告書ノ發刊配付ニ關スル事項
- 七、小使ノ監督ニ關スル事項

八、參觀人ノ案内ニ關スル事項

九、場内一般ノ取締ニ關スル事項

十、宿直ニ關スル事項

十一、他掛ノ主管ニ屬セサル事項

第五條 各掛ニ主任ヲ置キ場長ノ指揮監督ヲ受ケ主管事務ヲ掌理ス

第六條 事務ハ總テ主任ニ於テ之レヲ分擔ス事ノ關係アルモノハ相互ニ合議スベシ

第七條 主管事務ニ付合議ヲ受ケタル各掛員ハ事ノ輕重ニ從ヒ何レモノ分任ノ責アルモノトス

第八條 主任事故アルトキハ其掛ノ次席者事務ヲ代理ス

## 第二章 事務ノ處理

第九條 各掛主任ハ毎年度ノ初ニ於テ施行スヘキ業務ノ設計並ニ豫算案ヲ作り掛員ト協議編成シ場長ニ提出スベシ

第十條 場長ハ前項ノ書類ヲ查閱シ規程第拾壹條ノ手續ヲ了スルモノトス

第拾壹條 業務設計ニヨリ圃場日誌ヲ作リ日々ノ作業功程及期日ヲ豫定シ得ヘキ事項ヲ記スベシ

第拾貳條 各主任ハ掛員ト事務分擔ヲ定メ場長ノ承認ヲ受クベシ

第拾參條 前項ノ分擔者ハ日誌及業務豫定簿ヲ作リ日誌ハ前日分ヲ業務豫定ハ翌日ノ事業及之レニ要スル人夫ヲ記載シ主任捺印場長ニ經伺スベシ

但シ休日ノ翌日ニ屬スル事業豫定ハ休日ノ前日ニ前項ノ手續ヲナスベシ

第拾四條 掛員ヨリスル文書發案等其他苟モ所屬事務ニ關スルモノハ總テ主任ヲ經由スベシ

第拾五條 回覧ヲ要スル文書ハ回覧印ヲ押捺シ回覧ニ供スベシ

第拾六條 受文書中至急ヲ要スル者ハ其文書ニ至急印ヲ押捺シテ配布スベシ

第拾七條 總テ事件ノ處理ハ原議用紙ニ其處分案ヲ記載シ第六條ニヨリ場長ニ提出シ決裁ヲ請フベシ

第拾八條 前條ニヨリ合議ヲ受ケタルトキハ調査ノ爲メ特ニ時日ヲ要スルモノヲ除クノ外遲クモ當日中ニ閱了回附スルヲ要ス

第十九條 同一事件ニ關スル處文案ハ其關係書類ヲ順次添付シ顛末ヲ知リ易カラシムベシ

第二十條 場長不在中代理者ニ於テ決裁スル文書ニシテ場長ノ親閱ヲ要スルト認ムルモノハ代理人ニ於テ其文書ニ要親閱ト朱書スベシ

### 第三章 文書授受發送及編纂

第二十一條 總テ官衙公署及人民ニ往復文書ハ場長名若クハ場名ヲ用ヒ特ニ主任者ヨリ文書ノ往復ヲ要スルモノアルトキハ場長ノ認諾ヲ得テ後發送スベシ

第二十二條 本場ニ到着スル文書ハ庶務掛ニ於テ之レヲ收受シ親展書ヲ除クノ外直ニ之レヲ開封シ受附簿ニ登錄シ文書ニ番號及收受月日ヲ記載捺印ノ上場長ノ認印ヲ經テ主任ニ配布スベシ

第二十三條 發送文書ハ發送簿ニ登記シ文書ニ番號ヲ記シ即日之レヲ發送スベシ但シ文書輻輳シテ即日其發送ヲ了ル能ハサルトキハ緩急ヲ計リ場長ノ認許ヲ得テ翌日迄留置スルコトヲ得

第二十四條 前條原議書ニ發送月日ヲ記入シ取扱主任捺印ノ上原議者ニ返付スベシ

第二十五條 發送文書ハ親展又ハ書留郵便等特別ノ取扱ヲ要スルモノハ原議者ニ於テ原議書欄外ニ其旨朱記スベシ

第二十六條 處分ノ完結シタル文書ハ直ニ完結月日ヲ欄外ニ朱記シ捺印ノ上庶務掛ニ回付スベシ

第二十七條 文書ハ完結ノ都度左ノ類別ニヨリ之レヲ纏綴シ普通文書ハ曆年ニヨリ會計書類ハ會計年度ニヨリ編纂保存スベシ

第一類 永久保存

第二類 拾年保存

法規ニヨリ處分シタルモノ及諸報告調査書類等事業上參照タルベキモノ

第三類 一年保存

一時ノ處辨ニ屬シ將來必要ナキモノ

第二十八條 保存期限ヲ經過シタル文書ハ場長ノ決裁ヲ經テ棄却ノ手續ヲ爲

第二十九條 保存期限ヲ超過シタル文書ハ場長ノ決裁ヲ經テ棄却ノ手續ヲ爲

スペシ

第貳拾九條 一ヶ年ノ文書ニシテ僅少ナルモノハ翌年度ヲ通シテ連續編纂スルモ妨ケナシ此場合ニハ表紙ニ何ヶ年連續ト未記シ保存年限ヲ知ルニ便ナラシムベシ

## 第四章 物品會計

第一六  
第參拾條 場用全般ノ物品ヲ保存整理ノ爲メ左ノ如ク區別シ各主任者ヲ定ム

一、農具及昆蟲病理ニ關スル器具

一、製糖及分析用器具機械

一、生產製造調製及原料品ノ保存並ニ陳列用物品

一、事務用物品

第參拾壹條 物品保存ハ各主任者其責ニ任ス

第參拾貳條 物品保管主任者ハ毎年三回(四月、八月、拾貳月)ニ物品ヲ點檢シ亡失毀損其他ノ處分ヲ要スルモノアルトキハ其品名數量事由ヲ詳記シ庶務掛ニ差出スペシ

第參拾參條 庶務掛ハ場長ノ指揮ニ從ヒ時宜ヲ見計ヒ是レガ處分ノ手續ヲナスモノトス

第參拾四條 器具機械及圖書ヲ借用セントスルトキハ曾渡簿ニ記名調印ノ上借用ノ手續ヲナスベシ

第參拾五條 物品其他消耗品ハ主任ノ承認ヲ經スシテ猥リニ使用スベカラス

第參拾六條 物品購入及臨時農夫ノ傭入ヲ要スルトキハ毎月ノ初メニ於テ其月中所要ノ員數ヲ取調庶務掛ヘ請求ノ通知ヲナスベシ

第參拾七條 庶務掛ハ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其緩急必要ノ度ヲ調査シ場長ノ承認ヲ經テ之レカ注文雇入ノ手續ヲナスベシ

## 第五章 雜則

第參拾八條 本則ニ規定ナキモノハ本縣處務細則ヲ準用ス

第三節 鹿兒島縣立糖業試驗場甘蔗苗圃設置規程(大正元年九月七日認可)

第一條 大島郡内ニ甘蔗讀谷山種ノ普及ヲ計ル爲メ苗圃ヲ設置ス

第二條 苗圃ニ於テ讀谷山種ヲ養成シ之ヲ管内ニ無償配布シ且ツ栽培ノ模

範ヲ示スモノトス

第三條 糖業試験場ハ本規程ニヨリ大島郡内ニ左記ノ五苗圃ヲ設置ス

大島苗圃

喜界苗圃

沖永良部苗圃

徳之島苗圃

與論苗圃

第四條 苗圃管理ノ爲メ助手ヲ置ク

第五條 助手ハ糖業試験場長ノ指命ニ從ヒ苗圃ニ關スル事務ニ從事スルモノトス

第六條 苗圃ニ關スル事務ハ場長別ニ之レヲ定ム

第四節 鹿兒島縣立糖業試験場甘蔗種苗配付規程(大正元年九月九日縣令訓七號)

第一條 甘蔗種苗ノ配付ハ改良種ノ普及ヲ計ルヲ以テ目的トシ無償ニテ交付ス

第二條 甘蔗種苗ノ配付ヲ爲サムトスル片ハ糖業試験場長ハ豫メ種類數量及

出願期限ヲ公告スヘシ

第三條 甘蔗種苗ノ配付ヲ受ケムトスル者ハ出願期限内ニ種類數量ヲ記シタル願書ヲ所轄村長ヲ經由シ糖業試験場長ニ差出スヘシ

第四條 糖業試験場長配付ノ許可ヲナシタル片ハ該種苗ノ引渡期限ヲ指定スヘシ

第五條 甘蔗種苗配付ノ許可ヲ得タルモノ該種苗ノ引渡ヲ請フ片ハ許可證ヲ呈示スヘシ

第六條 甘蔗種苗引渡期限内ニ引渡ヲ請求セサル片ハ配付ノ許可ハ其効力ヲ失フ

第七條 許可證交付ノ後配付ノ目的タル種苗カ滅失シ又ハ枯損アリタル片ハ許可ヲ受ケタル者ハ糖業試験場長ノ通知ニ依リ該許可證ヲ返納スヘシ

第八條 甘蔗種苗配付ノ出願豫定數ニ超過スル場合ハ糖業試験場長ハ適宜分配ノ數量ヲ査定ス

第九條 糖業試験場長ハ必要ト認ムル場合ハ種苗ノ配付ヲ許可シタル者ニ對シ特ニ耕種ノ方法ヲ指定シ若ハ定式ニ依リ作況ヲ報告セシムルヲアルヘシ

附 則

本令ハ大島郡ニ限り之レヲ適用ス

第五節 鹿兒島縣立糖業試驗場糖業傳習生養成規程(大正元年九月七日認可)

第一條 糖業試驗場ニ於テ糖業ノ改良發達ヲ圖ル爲メ之レニ關スル學術及實地ノ大要ヲ習得セシムル目的ヲ以テ傳習生ヲ養成ス

第二條 糖業傳習生ニ關スル講習ハ糖業試驗場職員之レヲ擔當ス

第三條 講習科目左ノ如シ

一、農學大意

二、甘蔗栽培論

三、製糖論

四、甘蔗栽培及製糖ノ實習

第四條 傳習生ノ募集人員講習期間及其開期ハ毎年度糖業試驗場長之レヲ定ム

第五條 傳習生ハ所轄村長ノ推薦ニ依リ左ノ資格アルモノヨリ募集ス

一、高等小學校ヲ卒業シタルモノ若クハ之レト同等以上ノ學力アリト認メ

ラルモノ

二、年齢滿十八歳以上ニシテ品行方正身體強健ナルモノ

三、大島郡ノ住民ニシテ相當ノ耕地ヲ所有スルモノ若クハ其子弟ニシテ將來糖業ニ從事スルモノ

第六條 傳習生志願ノモノハ別紙書式ニ依リ願書ニ履歷書及村長ノ推薦狀ヲ添ヘ講習開始十日前迄ニ糖業試驗場ニ差出スベシ

但シ志願ノ數定員ニ超過スルキハ入場ノ許否ハ糖業試驗場長之レヲ決ス

第七條 身元保證人ハ丁年以上ノ男子ニシテ一家計ヲ營ムモノニ限ル

第八條 傳習生ハ場内ニ寄宿セシム但シ時宜ニヨリ通學ヲ許スコトアルベシ

第九條 傳習生ニハ一日一人金拾五錢ノ手當ヲ支給ス

但シ食費被服文具等ハ一切之レヲ自辨トス

第十條 傳習生左ノ各項ノ一一該當スルキハ何時ト雖モ退場ヲ命ズルコトアルベシ

一、品行不良

二、成績不良ニシテ修得ノ見込ナキモノ

三、疾病其他ノ事故ニヨリ修得スルコト能ハザルモノ

第十一條 傳習生中途退場ヲ命セラレ又ハ自己ノ都合ニヨリ退場シタルキハ既給手當ハ即日之ヲ辨償セシム

但シ疾病其他糖業試驗場長ニ於テ至當ト認ムル理由ニヨリ退場シタルキハ辨償ヲ免スルコトアルベシ

第十二條 講習ヲ了シタルキハ傳習生修得證書ヲ授與ス

第十三條 傳習生ハ修得後糖業ニ從事シ以テ斯業ノ改良發達ニ資スルハ勿論糖業試驗場ノ命ニ依リ其地方ノ糖業ニ關スル事項ニ就キ報告スルノ義務アルモノトス

### 傳習生志願書

某儀

今般貴場傳習生志願致候ニ付御許可相成度別紙履歷書及村長ノ推薦狀相添ヘ保證人連署此段御願申上候也

年 月 日

住所族籍戸主又ハ何某何男

姓 名 ㊞

生 年 月 日

右何某貴場傳習生トシテ御採用御許可相成候上ハ御規則等一切遵奉爲致可申ハ勿論同人身上ニ關スル一切ノ事ハ拙者共ニ於テ引受可申此段保證候也

年 月 日

住 所 族 籍

保 證 人 何 某 ㊞

全 上

保 證 人 何 某 ㊞

(備考) 本人姓名ニハ振り假名ヲ附スペシ

保證人中一名ハ名瀬在住者タルベシ

履 歷 書

一年月日何學校卒業

鹿兒島縣立糖業試驗場長宛

一年月日何學校卒業  
一年月日ヨリ年月日迄何ヶ年又ハ何ヶ月間何學校又ハ何業修業又ハ研究  
一年月日ヨリ年月日迄何ヶ年又ハ何ヶ月間何職從事  
一賞罰  
右之通り相違無之候也

年 月 日

## 推 薦 狀

何 某

住所族籍戸主又ハ何某何男

姓 生 年 月 日

右者貴場傳習生養成規程第五條ノ資格ヲ有スルモノタルコトヲ認定候  
條此段推薦候也

年 月 日

鹿兒島縣立糖業試驗場長宛

鹿兒島縣大島郡

何村々長 姓

名 囉

## 第六章 甘蔗栽培試驗

第一節

自明治四十一年度至大正五年度

試驗項目

試驗項目	年 度	種植季種採種									
		耕幅	幅深	株同價	間試驗	試驗	試驗	試驗	試驗	試驗	試驗
創始	明治四十一年	創始									
繼續	明治四十二年	繼續									
全全	明治四十三年	全全									
一一一	明治十四年	一一一									
全全全全全全	明治十五年	全全全全全全									
全創全全全全全全	大正二年	全創全全全全全全									
一始	大正三年	一始									
全繼全全全全全全	大正四年	全繼全全全全全全									
一續	大正五年	一續									
全全全全完完完全	大正四年	全全全全完完完全									
一結	大正五年	一結									
全全全全創全	大正五年	全全全全創全									
一始	大正五年	一始									

試験項目	試験目的	肥料配合試験							
		要素比較試験(甲)	要素比較試験(乙)	要素用量子試験	要素用量子試験	要素用量子試験	要素用量子試験	要素用量子試験	要素用量子試験
第二節 大正五年度試験項目	大豆粕分施試験	創始	創始	創始	創始	創始	創始	創始	創始
	窒素質肥料種類試験(甲)	創始	創始	創始	創始	創始	創始	創始	創始
	窒素質肥料種類試験(乙)	創始	創始	創始	創始	創始	創始	創始	創始
	綠肥用大豆間作試験	創始	創始	創始	創始	創始	創始	創始	創始
	磷酸質肥料種類試験	全	全	全	全	全	全	全	全
	豊凶考照試験	全	全	全	全	全	全	全	全
	深灌溝溉試験	全	全	全	全	全	全	全	全
	大豆根數試験	全	全	全	全	全	全	全	全
	宿根試験	全	全	全	全	全	全	全	全

一、種類試験(甲)	大島在來種ニ優レル品種ニシテ本郡ニ適當ナル甘蔗ナキヤヲ知ラントス	全上							
二、種類試験(乙)	大島在來種ト爪哇實生種ノ比較	全上							
三、季節試験	現在大島郡ニ於ケル栽植期ハ三月ヨリ五月ニ至ル間ナ	全上							
四、條幅株間試験(甲)	大島郡ノ氣候土質ニ於テハ作條ノ幅ト一株ト他株トノ間隔ヲ何程トナスヲ有利トナスヤヲ知ラントス	全上							
五、條幅株間試験(乙)	甘蔗作ノ豐凶ヲ豫察セントス	全上							
六、宿根試験	甘蔗作ノ最モ適當ナル宿根年限ヲ知リ併セテ其收量並ニ品質ノ變化ヲ見ントス	全上							
七、耕深試験	甘蔗作ニ最モ適當ナル耕土ノ深サヲ知ラントス	全上							
八、豊凶考照試験	甘蔗作ノ豊凶ヲ豫察セントス	全上							
九、間作試験	甘蔗苗ヲ水平ニ植付クルニ最モ適當ナル覆土ノ厚サヲ知ラントス	全上							
一〇、覆土試験	甘蔗苗ノ畦間ニ大豆ヲ播種シテ綠肥トナスニハ其播種期及播種量ハ如何ニスルヲ適當トナスヤヲ知ラントス	全上							
一一、要素比較試験(甲)	大島郡ノ土壤ニ於テ甘蔗ノ施肥上各要素ノ適量ヲ知ラントス	全上							
一二、要素比較試験(乙)	大島郡ノ氣候土質ニ於テ甘蔗作ニ對シ大豆粕ハ何回ニ分施スルヲ最モ有利トナスヤヲ知ラントス	全上							
一三、要素適量試験	大島郡ノ土壤ニ於テ甘蔗ノ施肥上各要素ノ適量ヲ知ラントス	全上							
一四、大豆粕分施試験	大島郡ノ氣候土質ニ於テ甘蔗作ニ對シ大豆粕ハ何回ニ分施スルヲ最モ有利トナスヤヲ知ラントス	全上							

## 第七章 甘蔗製糖試驗

試驗項目	年 度	第一節		試驗項目	
		自明治四十一年 至大正五年度	試驗	明治四十二年	試驗
石灰加用試驗	創始	創始	創始	創始	創始
甘蔗壓搾器ノ原動力比較試驗	繼續	繼續	中止	繼續	繼續
沸煎竈比較試驗	創始	創始	創始	全	全
燃	創始	創始	創始	全	全
畜力壓搾器ニ對スル牛馬ノ比較試驗	繼續	繼續	繼續	全	全
壓搾器ノ大小比較試驗	創始	創始	創始	全	全
黑糖取上溫度試驗	全	全	全	全	全
石灰加入期試驗	全	全	全	全	全
黑糖、赤糖、白下糖ノ經濟比較試驗	完結	全	全	全	全
甘蔗貯藏試驗	全	全	全	全	全
罹病甘蔗ノ主要成分變化試驗	全	全	全	全	全
丸鍋ト角鍋トノ比較試驗	全	全	全	全	全

試驗項目	試驗	留油加汁試驗		留油加用試驗	
		第一節	第二節	第一節	第二節
一、取上溫度試驗	試驗	一	一	一	一
二、石灰使用量試驗	試驗	一	一	一	一
三、黑糖、白下糖、赤糖ノ經濟比較試驗	試驗	一	一	一	一
四、油功用試驗	試驗	一	一	一	一
五、燃料試驗	試驗	一	一	一	一

第一節 大正五年度試驗項目

黑糖、赤糖、樽入白下糖製造ニ於ケル取上適溫ヲ知ラントス	黑糖製造上石灰使用ノ適量ヲ研究セントス
-----------------------------	---------------------

地

在

所

稱

大島苗圃

第八章 甘蔗苗圃

第一節 苗圃位置

鹿兒島縣大島郡名瀨村大字伊津部

鎮西村	喜界村	十島村	笠利村	龍鄉村	東方村	住用村	實久村	燒內村	西方村	鎮西村	大和村	瀨名村
小計												
一一老二五	一九二元〇三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三
一一〇二八	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一
(二六四	三一云	一云	一云	一云	一云	一云	一云	一云	一云	一云	一云	一云
(二六二	四三五	一三二	四六一	二八三	二八三	四六一	二八三	二八三	二八三	二八三	二八三	二八三
八、八〇	一〇、〇〇	八、〇〇	三、〇〇	三、五〇	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
六、〇〇	二二、五〇	四、〇〇	七、〇〇	八、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
六、〇〇	二二、五〇	一八七、六〇	二一九、〇〇	一、〇〇	五一、〇〇	二四、八〇	三、〇〇	四二、五〇	一〇、〇〇	二〇、〇〇	八、〇〇	三、五〇
喜界苗圃	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

三一

第三節 蔗苗配布成績													
村名	第一大正二年 度圃			第二大正三年 度圃			第三大正四年 度圃			第四大正五年 度圃			面積
	沖永良部	與論	德之島	大島	喜界	德之島	大島	喜界	德之島	大島	喜界	德之島	
大島苗圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃	圃
同郡島尻村	大字伊仙	同郡和泊村	大字皆川	同郡與論村	大字茶花	同郡喜界村	大字灣	同郡喜界村	大字伊仙	同郡島尻村	大字皆川	同郡喜界村	大字灣
面積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積
量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量
圃名													

三〇

		島尻村		東天城村		天城村		龜津村		小計	
		知名村		和泊村		小計		與論村		小計	
大島郡	大島村	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	龜津村	龜津村
喜	喜	東	東	笠	笠	龍	實	燒	燒	島	島
論	論	天	天	界	界	方	久	久	久	天城村	天城村
計	計	城	城	村	村	村	內	瀬	瀬	龜津村	龜津村
一四一三	一四一三	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
二六一〇〇	二六一〇〇	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
一一三一	一一三一	四二四	一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
三〇三五七	三〇三五七	一	一二一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
一〇三四	一〇三四	二二四	一	五二七	二八一	一四一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
三三											
三三											
三三											
三三											

## 第九章 糖業傳習生養成

糖業傳習生ノ修得人員ヲ村別ニ示セハ左ノ如シ

郡  
村  
名  
大正元年

大正二年

大正三年

大正四年

計

圃地之島苗  
全  
全  
全  
全  
全  
全

冲永良部  
圃地之島苗  
全  
全  
全  
全  
全  
全

與論苗圃  
全  
全  
全  
全  
全  
全

第十章 印刷物配布

三四

鹿兒島縣立糖業試驗場要覽

糖業試驗場報告 第一號

甘蔗作ノ心得

製糖ノ叢

糖業試驗場報告 第二號

糖業試驗場報告 第三號

製糖ノ叢

二〇〇部

一〇〇部

三五〇部

二〇〇部

二〇〇部

三五〇部

1424  
3521

終

